

## 沖縄盲学校において全面的に「JFEビューボード」を採用

JFE 鋼板株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:今村晴幸)は、内装用カラー鋼板「JFEビューボード」を、公立学校では初めて、沖縄県立沖縄盲学校(大田幸司校長・生徒数65名)に全面的にご採用いただき、このほど全ての普通教室、特別教室、職員室および事務室における普通黒板、行事用黒板、プレイルームの間仕切り、個別活動スペースの壁面など、計40箇所への設置工事がこのほど竣工しました。

同校は、視覚に障がいのある(全盲および弱視)子どもたちが在籍する沖縄県で唯一の盲学校で、幼稚部・小・中・高等部があります。校舎の老朽化により、新校舎をユニバーサルデザインの理念で設計し、夏休みの期間中に、地域のボランティアの手を借りて引越し作業が行われました。

ビューボードは、粉が出ない環境固形マーカー「キットパスビュー」(日本理化学工業株式会社製)の適合ボード用鋼板として開発・販売され、ホワイト、グリーン、ブラックの3種類があります。黒板は一般的にはグリーン地ですが、ブラック地の方がマーカーの文字がより鮮明になり、弱視の子どもでも識別しやすいことから、同校の強い希望により、普通黒板・行事用黒板は全てブラックのビューボードが設置されました。また、個別活動スペースの壁面やプレイルームの間仕切りなどにはホワイトのビューボードが採用されました。ホワイトは大きな面に設置することで、落書きウォールやプロジェクターの映写面、電子黒板の板面など様々な使い方が可能で、会議室など壁面全面に施工するケースも増えております。またいずれも鋼板であるためマグネットを使うことができ、資料を掲示するにも便利です。

一方、適合マーカーである「キットパスビュー」は、口紅等に使われるパラフィンが主成分のため万が一子供が舐めても安全であり、更に水溶性であることから水で濡らしたイレイサーを用いて消すので、チョークと異なり粉が舞いませぬ。教師や生徒にとって、人体にやさしく衛生的で、いつも清潔で快適に使用できることも、ビューボード採用の大きな決め手となりました。周辺環境のIT化が進む中、粉を嫌うOA機器が集まる環境に最適であり、また板面がスクリーンのように揺れることなく、短焦点プロジェクターとの相性が優れていることから注目されています。

このような学校環境をはじめ、オフィス、一般住宅・高齢者施設等の居住施設、幼稚園等の幼児施設、病院等の医療施設、店舗等の商業施設など、多くの施設において、ビューボードやキットパスビューの特長をご理解いただき、国内に限らず海外でも導入されるようになり、累積施工件数は100件を超えました。

今後も、ボードやスクリーンを利用するご要望に対して、より快適な環境をご提案していきたいと考えております。

<本リリースに関するお問い合わせ先> 商品化部 楠岡・蓑内 TEL: 03-3493 - 1660



各教室に設置されたブラックのビューボード



プレイルールのドアに設置されたホワイトのビューボード